第 16 講　【近代編】ヨーロッパのアジア侵略
PART4 日本の台頭と朝鮮半島の動乱

Chapter 1　明治維新と日本の台頭

目標
明治維新で，日本の政治体制はどのように変わったのだろうか。
明治維新後の日本の領域がどのように決まったのかをおさえよう。

1　日本の明治維新

1853 年　アメリカ東インド艦隊司令官**ペリー**が浦賀に来航し，開国を要求

1854 年　江戸幕府がアメリカと**日米和親条約**を締結し，開国

※（1）下田・函館の開港，（2）片務的最恵国待遇の付与などを定める。

1858 年　〔　　　　　　　　　　　　〕を締結

※米駐日総領事ハリスと結んだ**不平等条約**で，（1）神奈川など 5 港の開港，（2）領事裁判権，（3）協定関税制（関税自主権の喪失）などを定める。

1858 年　オランダ，ロシア，イギリス，フランスとも同様の通商条約を締結

→尊王攘夷運動が広まる。やがて，薩摩藩・長州藩を中心とする倒幕運動へ発展

1867 年　第 15 代将軍徳川慶喜が**大政奉還**（政権を朝廷に返上）を行う

1868 年　王政復古のクーデタによって，新政府が成立（〔　　　　　　　　〕）

※富国強兵，殖産興業を目指し，天皇を中心とする近代国家建設を進める。

2　国境策定

1871 年　不平等条約の改正の予備交渉のため，〔　　　　　　　　〕を欧米に派遣

1871 年　清と〔　　　　　　　　　　〕を締結

※日清間で結ばれた最初の条約で，領事裁判権と協定関税率を相互に承認。

1872 年　日清両属状態にあった〔　　　　　　　〕を琉球藩とする

1874 年　〔　　　　　　　〕

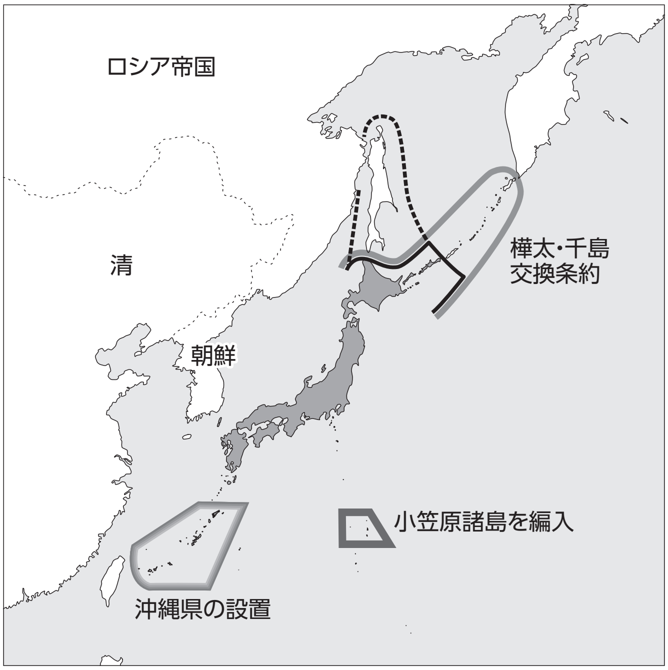
※台湾に漂着した琉球島民の殺害事件を口実に出兵。

→ 1879 年に**沖縄県**とし，琉球を日本に併合（**琉球処分**）

1875 年　ロシアと〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を結ぶ

※樺太（サハリン）をロシア領，全千島列島を日本領とし，両国の国境が確定。

1876 年　**小笠原諸島**の日本領有が確定



日本の国境策定

3　自由民権運動と大日本帝国憲法

1874 年　板垣退助らが，国会開設を要求する**民撰議院設立の建白書**を政府に提出

→民主的改革を要求する政治運動〔　　　　　　　　　　〕が勃発

1881 年　政府が**国会開設の勅諭**を出し，10 年後に国会を開くことを約束

1889 年　〔　　　　　　　　　　　　〕（明治憲法）を発布

※君主権の強いプロイセン憲法を手本とし，欽定憲法として発布。

1890 年　第 1 回**帝国議会**を開催

1894 年　イギリスと日英通商航海条約を結び，領事裁判権の撤廃に成功

まとめ　江戸幕府の封建体制から，天皇を中心とする中央集権体制に変化した。日清修好条規や樺太・千島交換条約で国境が策定されたほか，琉球処分で沖縄を領域に加えた。

Chapter 2　朝鮮半島の動乱

目標　壬午軍乱や甲申政変の歴史的意義を理解しよう。
日清戦争に勝利した日本が得たものについて知ろう。

1　李朝の衰退と日本の進出

1811年　洪景来の乱がおこる
※没落した官人の洪景来が，李朝に不満を持つ官僚や農民を率いる。

1863年　**高宗**が即位。父である〔　　　　　　〕が摂政として実権を握る
※鎖国政策を取り，欧米諸国からの開国要求を拒否。日本とも対立。

1873年　王妃閔妃の一族（〔　　　　〕）が実権を握り，**大院君**が失脚

1875年　日本が〔　　　　　　　　　　〕をおこし，開国を迫る

1876年　日本と〔　　　　　　　　　　　　〕（江華条約）を締結し，開国
※（1）釜山，仁川，元山の開港，（2）日本の領事裁判権，関税の免除など。

2　朝鮮半島の動乱

1882年　**漢城**（現ソウル）で，攘夷派の軍人による反乱〔　　　　　　　　〕が勃発
※**大院君**を擁立して閔氏派を攻撃，日本公使館を襲撃するも，清軍に制圧される。
→清を後見とする閔氏ら（事大党）と日本に接近する開化派（独立党）が対立

1884年　開化派の〔　　　　　　〕らが反乱〔　　　　　　　　〕をおこす
※日本の支援を受け閔氏政権打倒を目指すが，清軍に鎮圧される。
→清が朝鮮への影響力を強め，日本と対立

3　日清戦争とその影響

19世紀末　**崔済愚**がおこした新宗教〔　　　　〕が，朝鮮王朝の圧政に苦しむ民衆の間に広まる

1885年　日本と清が**天津条約**を結び，出兵の際の事前通告を定めて朝鮮から撤兵
※将来出兵する際には，事前に通告することなどを定める。

1894年　〔　　　　　　〕が〔　　　　　　　　　　　　〕（東学の乱）をおこす

1894年　朝鮮政府が反乱鎮圧のために，清に派兵を要請

日本も出兵して〔　　　　　　　　〕が勃発

※日本が陸海両面で清軍を圧倒

1895年　日本と清が講和条約〔　　　　　　　　〕を結ぶ

※日本全権は**伊藤博文**，清朝全権は**李鴻章**。

※（1）清は**朝鮮の独立**を承認，(2）**遼東半島**･〔　　　　〕･**澎湖諸島**を日本へ割譲，

（3）2億両の賠償金の支払い，（4）開港場の企業設立権などを定める。

→賠償金によって，日本の産業革命が進む

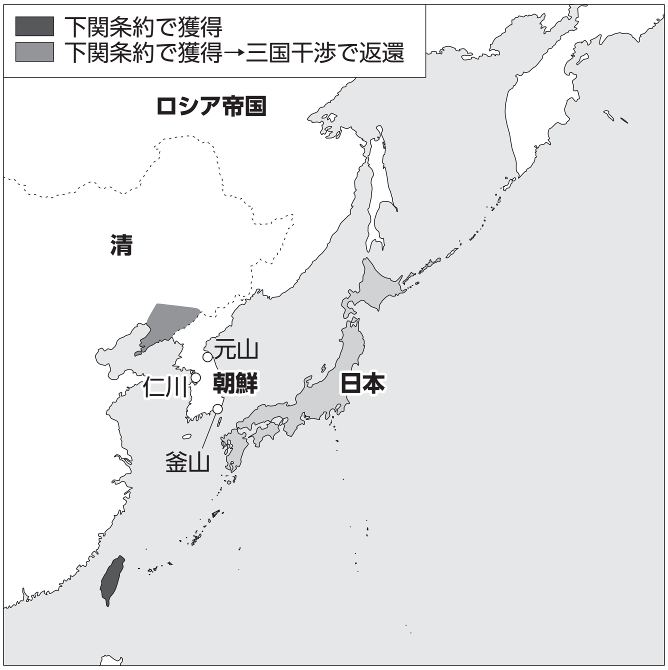
1895年　ロシア・ドイツ・フランスによる〔　　　　　　　　〕がおこる

※日本は遼東半島を清に返還。

1895年　日本公使が中心となり，**閔妃**を暗殺

※日本とロシアの対立が進む。

→朝鮮民衆の反日感情が高まる



日清戦争により日本が得た土地

まとめ

壬午軍乱や甲申政変の動乱で閔氏政権は清に，開化派は日本に援助を求め，朝鮮進出を図る日本と清の対立が激化した。

台湾などの領土に加え，開港場における企業の設立が認められた。また賠償金によって日本の産業革命が進んだ。

第 16 講 PART 4 確認問題

1 日本の江戸幕府が鎖国をとき，開国へ踏み出すことになった条約を何というか。

① 日露和親条約　② 日露修好通商条約
③ 日米和親条約　④ 日米修好通商条約

2 日本とロシアの国境を画定させた，1875 年の条約を何というか。

① ポーツマス条約　② 樺太・千島交換条約
③ 下関条約　④ アイグン条約

3 高宗の摂政として，朝鮮の鎖国政策を推し進めた人物はだれか。

① 西太后　② 閔氏
③ 大院君　④ 洪景来

4 日本が朝鮮を開国させるきっかけになった，1875 年の出来事はどれか。

① アロー戦争　② 琉球処分
③ 台湾出兵　④ 江華島事件

5 19 世紀後半，閔氏政権打倒を掲げて甲申事変をおこした開化派の人物はだれか。

① 金玉均　② 崔済愚
③ 李舜臣　④ 全琫準

6 日清戦争勃発のきっかけとなった，朝鮮農民たちの反乱はどれか。

① 李自成の乱　② 太平天国の乱
③ 白蓮教徒の乱　④ 東学の乱

7 日清戦争の結果，日本が獲得したのは，遼東半島・澎湖諸島とあともう一つはどこか。

① 青島　② 香港島
③ 台湾　④ マカオ

8 下関条約で日本が遼東半島を獲得したことに対し，ドイツ・フランスを誘って三国干渉を行ったのはどこの国か。

① ロシア　② アメリカ
③ イギリス　④ 朝鮮

第16講 PART 4　確認問題 解答

1 解答：③　日本の江戸幕府は，1854 年にアメリカと**日米和親条約**を結び，開国した。

2 解答：②　日本とロシアは**樺太・千島交換条約**を結んで，樺太（サハリン）をロシア領，全千島列島を日本領と定めた。

3 解答：③　欧米諸国は朝鮮に対して開国を要求したが，高宗の父**大院君**はこれを拒否した。

4 解答：④　日本は 1875 年に**江華島事件**をおこし，朝鮮に開国を迫った。

5 解答：①　開化派の**金玉均**らは 1884 年に閔氏政権打倒を目指して甲申政変をおこしたが，清軍の介入で失敗した。

6 解答：④　**甲午農民戦争**（東学の乱）を鎮圧するため，日本と清の両国が出兵して日清戦争になった。

7 解答：③　日清戦争後に結ばれた下関条約で，日本は遼東半島，**台湾**，澎湖諸島を獲得した。その後，ロシアなどの干渉で，日本は 3000 万両と引き換えに清に遼東半島を返還した。

8 解答：①　日本が遼東半島を獲得したことに危機感を抱いた**ロシア**は，ドイツ・フランスを誘って三国干渉を行った。